

令和4年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和5年3月27日）

部長	課長	課長補佐	係長	係員	報告者	合議
協議会議事要点録						
会議名	令和4年度 第2回江田島市交流定住促進協議会					
日時	令和5年3月27日（月）10時00分～11時40分					
場所	大柿市民センター1～3会議室					
出席者	江田島市商工会会長	会長【議長】	ひらた けいじ 平田 圭司	○		
	江田島市自治会連合会会長	副会長	はまたに かずま 濱谷 一真	○		
	江田島市女性会連合会会長	監査	うね たみこ 宇根 民子	欠席		
	江田島市商工会青年部部長		できがい ひでお 出木谷 秀雄	欠席		
	江田島市社会福祉協議会事務局次長		ふじい しん 藤井 伸	○		
	J A呉江能営農経済センター長		しらもも まこと 白桃 誠	欠席		
	江田島野菜出荷組合組合長		やまだ たかみ 山田 隆見	○		
	江田島市漁業振興協議会		ひぐち もとむ 樋口 元武	○		
	江田島市不動産連合会会長		こぼたけ みつお 小島 光雄	○		
	体験民宿 NORA オーナー		わせだ けい 早稲田 圭	○		
	江田島市企画部長		おくだ しゅうぞう 奥田 修三	○		
	一般社団法人フウド代表理事		ごとう しゅん 後藤 峻	○		
1 開 会						
事務局	開会宣言					
2 会長あいさつ						
会 長	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>江田島市交流定住促進協議会 会長の平田でございます。</p> <p>本日は御多用の中、令和4年度第2回 江田島市交流定住促進協議会に御出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本協議会は、市内への交流人口の拡大を図るために設置され、委員の皆様の御意見をいただきながら、定住促進の施策に取り組んでまいりました。</p> <p>昨年度は、空き家バンク成約件数が39件、移住者数は22世帯47人と過去</p>					

令和4年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和5年3月27日）

	<p>最高値となりましたが、本年度も空き家バンク成約件数及び移住世帯・移住人数は昨年度に迫る実績値が見込める状況となっています。さらに、この度地域貢献に意欲のある人材を確保することを目的に、市の移住・定住ポータルサイト「hodohodo(ほどほど)」も改修を行いました。協議会事業としては、更なる移住促進施策として江田島暮らしイメージツアーを新年度予算案に計上しています。</p> <p>今後は新型コロナウイルス感染症の対策緩和により、地方から都市部に人流が戻ることも予測されています。しかし、リモートワークや、働き方の多様化により地方移住が実現しやすい社会に変化していることも事実です。</p> <p>本日は、協議会事業や移住・定住施策について、各分野で活躍されている委員の皆様、率直な意見や思いなどをいただきまして、今後の事業につなげていきたいと考えております。</p> <p>最後になりますが、この協議会の活動が移住・定住促進のみならず、地域活性化の一翼(いちよく)を担うことを願いまして、あいさつとさせていただきます。</p>
3 議 題	
(1) 報告事項	
ア 江田島市交流定住促進事業について（資料1）	
イ 令和5年度江田島市当初予算について（資料2）	
議 長	<p>それでは、議題（1）報告事項に入ります。</p> <p>ア「江田島市交流定住促進事業について」及びイ「令和5年度江田島市当初予算について」を事務局より、それぞれ報告をお願いします。</p>
事 務 局	－資料1, 資料2により説明－
議 長	ただいま事務局から説明がありました。質疑はありますか。
各 委 員	（質疑なし）
議 長	ないようですので、報告事項を終了します。
(2) 議案	
ア 令和4年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて（資料3-1, 3-2）	
議 長	<p>続きまして、議案審議に移ります。</p> <p>議案ア「令和4年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	－資料3-1, 3-2により説明－
議 長	ただいま事務局から説明がありました。質疑はありますか。
委 員	<p>先ほどの説明にあったように、移住相談は増加傾向にあります。来年度以降、どうなっていくのかは予想がつきませんが、おそらく今後も良い流れが続いていくのではないかと感じています。現場は嬉しい反面、とても忙しくさせていただいているというのが、フウド運営側からの補足でした。</p> <p>一点婚活事業について、参加者数が51名に対し、カップル成立数が10組</p>

令和4年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和5年3月27日）

	と、成立率が高いように感じるのですが、イベントを通じてどんな形でカップルが出来たのか、差し支えない範囲で教えていただきたいです。
事務局	<p>こちらは、呉市をはじめとする連携市町が持ち回りで実施する事業で、今回の開催地が江田島市となりました。企画・運営は、結婚相談所を営んでいる事業者に委託し、周知についても積極的に行ったため、応募も多数いただくことが出来ました。</p> <p>カップル成立数については、イベントの最後に、気になる相手の名前を3名まで記入いただき、お互いに名前を書いた組がカウントされています。</p> <p>第1術科学校やオリーブファクトリーなど、江田島市の主要な観光地を巡ることもできたので、参加者の方にも喜んでいただくことができ、市のPRも兼ねた良いイベントとなりました。移住定住としての効果の他にも、今後の来訪につながるきっかけづくりができたと感じています。</p>
委員	以前、江田島市で開催した際は、男性は市内の方に限っていたように思うのですが、今回はどうだったのですか。
事務局	<p>市内・市外を問わず参加いただいています。</p> <p>以前開催したときは、市社会福祉協議会が主催したものであったため、男性に関しては市内在住者に限らせていただいたのですが、今回は呉市が主催の8市町の連携事業の中で、本年度が江田島市の順番であったというだけなので、広く募集をかけ実施しました。</p>
委員	フウドの年間利用者数が現状2,350名ということから、セミナー等を含めた数とはいえ、大変忙しくされていることがうかがえます。移住者数・移住相談件数が増えているのも、フウドの活動の影響が大きいと思いますので、これからもよろしくお願ひしたいです。
議長	<p>本当にそのとおりだと思います。</p> <p>ちなみに、フウドは何名体制で運営しているのですか。</p>
委員	移住交流拠点施設以外にも、会社としては色々な事業を行っていますので、それらを含めてという回答にはなりますが、従業員は常勤が2名で、非常勤アルバイトが3名で運営しています。
議長	<p>これだけの件数を対応するのは非常に大変なことだと思います。</p> <p>イベントの中の「都市学生が観た“えたじま展”」について、参加者が185名ということですが、どのような内容だったのですか。</p>
委員	昨年度、千葉大学で建築・都市計画を専攻している学生さんが、祖父母が深江に住まれているというご縁で、フウドにインターンシップのために訪れ、江田島市をフィールドにした卒業研究を行いました。その際に、フウド以外にもたくさんの方にお世話になったということで、発表後、研究資料を展示するイベントを開催する運びとなりました。多くの方に興味を持っていただけた研究内容でしたが、大学でも学年で最優秀賞を受賞されたということで、とても誇らしく思っています。
委員	移住相談件数について167件とありますが、フウドまで足を運んで相談に来

令和4年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和5年3月27日）

	<p>られる方は、かなり積極的な姿勢だと思いますが、江田島をどこでどのように知ってこられるのか、肌感でもよいので教えていただければと思います。</p>
委員	<p>従来から江田島に興味を持ち、ご自身でサイトなどの情報を通じて訪れていただく方は一定数いらっしゃいます。</p> <p>一方で近年増えていると感じるのは、今日出席されている「NORA」の早稲田さんもそうなのですが、江田島市内の様々な地域活動がメディアに取り上げられる機会が増えているので、それをきっかけに興味・関心を持っていただいたり、江田島市に移住した知人の話を聞いたりして、フードまで相談に来られるという方が多い印象です。</p>
委員	<p>全く江田島市に縁もゆかりもないという人が突然フードを訪れるというより、何かしら人とのつながりをきっかけに移住される方が多いということですね。そういうことであれば、自衛隊の方や、親族が江田島にいらっしゃる方など、人とのつながりがある方にアプローチしていくことも重要だと思います。</p>
議長	<p>他に質疑はありますか。</p>
各委員	<p>（質疑なし）</p>
議長	<p>お諮りします。</p> <p>議案ア「令和4年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて」に賛成される方は、挙手をお願いします。</p>
各委員	<p>（委員 挙手）</p>
議長	<p>全会一致です。</p> <p>よって、議案ア「令和4年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて」は、可決されました。</p>
<p>イ 令和5年度江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について（資料4-1, 4-2, 4-3）</p>	
議長	<p>続いて、議案イ「令和5年度江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>－資料4-1, 4-2, 4-3により説明－</p>
議長	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、これについて質疑はございますか。</p>
委員	<p>魅力ある町とは、安全安心で暮らしやすいことが重要で、他市町との差別化を図る必要があります。一番良いのは江田島市内で就業していただくことですが、正直、なかなかそういったケースは少ないのかなと思います。新規ツアーのターゲットにもあるように、本市は広島市からとても近い立地なので、私自身も、社会人の最初から定年退職までの間、広島市に通勤しました。そのため、現在広島市で暮らし勤務されている方に、いかに江田島市に移り住んでいただくかを考えるのは大切だと思います。合わせて、江田島市の景観は都会にはない素晴らしい魅力なので、積極的にPRしていくべきだと思います。</p> <p>また、他自治体では、子育て支援に力を入れるところもあります。子ども1人</p>

令和4年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和5年3月27日）

	<p>につき、100万円などまとまった金額を補助する等、予算の問題はありますが、移住先として目を向けてもらうための手段にはなりえると思います。</p> <p>一方、高齢者に向けた制度については、国全体の規模で足りていないように感じます。江田島市もかなり高齢化が進んでおり、状況は深刻です。余生を安心して過ごしていけるような島であれば、定年後のUターンも視野に入れてもらえるのではないのでしょうか。年金生活では、どうしても収入が少なくなりますが、自給自足のような生活も取り入れることで、だいぶ生活費は安上がりで済んでいます。</p> <p>江田島出身の高齢者を呼び戻す、あるいはこの先出ていかせないための対策も重要であると思います。子育て世帯に限らず、全体として暮らしやすい市になってほしいです。</p>
事務局	<p>移住定住施策はPRがメインです。おっしゃるとおり、そもそも周りにPRするためには、暮らしやすい街であることが前提だと思います。市全体として、仕事づくり・医療福祉などの基礎部分を整備しながら、総合力を持ったうえでPRを行っていくことが必要だと思います。</p> <p>近隣市町に向けたPRについて少し情報共有をさせていただくと、つい先日、「THE OUTLETS HIROSHIMA」で移住・観光PRのためのブース出展に参加しました。</p> <p>そのようなイベントやHP等を活用しながら、今後も近隣市町へのアプローチを継続して実施していこうと思っています。</p>
議長	<p>首都圏などで開催される移住フェアなどで、移住者を呼び込む取組についてはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>市交流定住促進協議会の事業には該当しませんが、市の移住定住施策としては今年度中に4回ほど、県や連携市町が開催する大型のフェアに出展しました。</p> <p>フェアへの参加者は、広島に所縁がある方が多い印象でしたが、江田島市をはじめとした尾道市・三原市など瀬戸内エリアの人気は高く、相談者の方も熱心で、関心の高さを改めて実感しました。来年度も引き続き、積極的に参加していきたいです。</p>
議長	<p>色々と外向けのイベントやPRなど、市が実施している取組を、市民の方に広く知っていただけていないという現状があります。首都圏などに出向き、移住希望者の方と直接膝を交えて相談できるせっかくの機会なので、最大限に生かし、移住者を呼び込んでいただけたらと思います。</p> <p>仕事面については、私も事業所を営む中で、江田島市は全く人手が足りていないと感じています。求人募集をかけても、ハローワークを含め、なかなか働き手が見つかりません。市社会福祉協議会においても無料職業相談所を設けていただけていますが、マッチングが上手くいかず、大変な人手不足に陥っています。</p> <p>職業相談に乗る中で感じるのは、募集している職種と、相談者が希望している職種のミスマッチが生じているということです。自分に合う仕事がない＝仕事がないとされているだけなので、江田島に来たら、一次産業以外にも全く仕事がない</p>

令和4年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和5年3月27日）

	<p>わけじゃない点もしっかりご理解いただけるようにするべきだと思います。業種 mismatches は、人手不足を深刻化し、結果的には持続的な事業運営が立ちいかず、企業縮小をせざるを得ない状況が目の前まできており、この先かなり大きな問題になることが危惧されます。</p> <p>市商工会の中でも、移住してきた職員が数名いますが、移住のきっかけは、奥さんの地元だからということです。いろんな縁があって、江田島市とつながり移住される方も多く、やはり出会いや機会がないと移住まで結びつけるのは難しいところがありますので、その点をしっかりフォローしていただければと思います。</p> <p>他に御意見や御質問等がございますか。</p>
委員	<p>予算についてですが、支出部門のフード事業費が約 40 万円の減額、移住定住事業費が 55 万円の引き上げと、昨年度と比較し、割と大きな増減だと思いますが、何か理由があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>現状、フード事業と移住定住事業の2つを合わせて、フードに業務委託させていただいています。フードの中で2事業の調整を行っていただいた結果生じた変更のため、フード委託料としてのトータルの額については、昨年と比較しほぼ変わりはありません。</p>
委員	<p>内部的な事情ということであれば問題ありません。</p>
委員	<p>会長の話にあったように、ハローワークなど、求人があるのに人手が足りないのは何か問題があるのではないのでしょうか。給与・福祉面における広島市などの都市部との格差も多少あるでしょう。</p> <p>金銭面・充実感を天秤にかけた結果、江田島市内の業種が選ばれていないという現実がある以上、原因をしっかりと見つめ直さないと状況は変わらないと思います。江田島市内で働いてもらわないと人口は増えていきません。</p> <p>こんな職場で働いてみたいな、生活が安定して良い仕事が出来そうだな、と感じていただけるようなPRを含めて、魅力的な職場づくりが必要だと思います。</p>
委員	<p>ご参考までに、無料就業紹介所の中でデータに関する情報提供をさせていただくと、就職相談者（移住者＋市民）の希望職種で一番多いのは、事務職の23%、次に多いのが18%の倉庫作業棟を含む軽作業でした。対して、会社側の募集する職種で一番多いのは、介護業務で20%、次が医療・看護で15%、販売接客の11%でした。実際に職を探している方・会社が欲しい人材の mismatches がここでも起こっていることが分かります。</p> <p>求職中の年齢層については、50～59歳の20%が一番多く、次に60～64歳の19%でした。社協を通じて仕事を探している若い世代がとても少ないことから、PR不足を課題に感じています。</p> <p>あくまで知人の方の紹介による移住など様々であるため、資料と一致はしませんが、江田島市外から働くために移住された方の人数は、令和元年から順に、24名、15名、26名、21名と、移住実績が向上しているのに対し、登録人数が伴っていないことから、市外の求職者に向けたPRをしていかなければいけないと感じ</p>

令和4年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和5年3月27日）

	じています。
議 長	資料にも移住者数の実績値がありますが、移住された方の正確な数字は把握しづらい現状があります。この会議の中でも以前から議論されている問題であり、移住の定義など、どこまでを把握していくのかという課題もあると思うのですが、カウントが出来ていない部分はかなりあるということも認識する必要があると思います。 他に質疑はありますか。
各 委 員	（質疑なし）
議 長	お諮りします。 議案イ「令和5年度江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）」に賛成の方は、挙手をお願いします。
各 委 員	（委員 挙手）
議 長	全会一致です。 よって、議案イ「江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）」は、可決されました。
4 その他資料について（参考No.1, 2, 3）	
議 長	続いて、その他の資料としてお配りしています、3点の資料について事務局から説明をお願いします。
事 務 局	－参考No.1, 2, 3により説明－
議 長	ただいま、事務局から説明がありましたが、これについて質疑はございますか。
委 員	参考 No.1 について、来年度以降の調査はどのように考えていますか。
事 務 局	まずは、登録意向がありながら申請書が提出されていない方へアプローチします。また、登録意向のない方へは、どのような点で登録のネックになっているかを得た回答からリスト化を行い、空き家予防チェックシートや相談会等の場を活用して、各種補助金の案内等、空き家予防に関する取り組みを行います。
委 員	今後も、所有者に対して継続的なアプローチをお願いします。
委 員	長期間、登録されている物件の劣化は非常に早く、近所の方からも家が崩れて困っているという声を聞きます。空き家バンクへ登録しないという方も多くいらっしゃいますが、管理しないといけないという危機感をもっていただけるような周知をしていかなければならないと思います。
事 務 局	成約している物件は2ヶ月以内が全体の3割です。この結果を空き家バンク登録にためらっている所有者へ向けて背中を押す働きかけをしていきたいと考えています。また、空き家の総合管理では、都市整備課が担っており、空き家の相談会等もしています。課がまたがることでしっかり連携を組んで、考えていきます。
委 員	移住されている方にとっては、どのエリアが人気ですか。

令和4年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和5年3月27日）

事務局	空き家バンクを介して成約した物件にはなりますが、沖美町や中町などが登録されると成約までが早い傾向があります。成約物件としては4町に大きな偏りはありませんでした。
委員	市民にとってもですが、移住者にとっても交通の便は非常に重要です。景色の良い場所もありますが、景色だけでは生活できません。移住だけでなく、市全体で移住者の支援を行っていただきたいと思います。
事務局	移住希望者の声としても、風景が良く、海が見えるというのはすごく強みです。海が見える物件なら、人気があるのではないかと実感しています。お願いしたいのは、近隣の方で空き家をお持ちの方をご存じであれば、ぜひ空き家バンク登録の声かけにご協力いただけますと幸いです。
議長	江田島市に限らず、全国どこも空き家バンクの物件登録は苦戦しています。島嶼部や県北も空き家はたくさんありますが、広島県の注目度は高いです。新築も多いですが、中古物件に住まれる方も多いので、やはり空き家バンクの登録物件数を上げていくということは、移住者の受け皿として大切です。そのためにも所有者へアプローチしないといけません、市外の方が多いので、そちらに向けてのアプローチも考えていかないといけません。市外の方へのアプローチはどのようにされていますでしょうか。
事務局	所有者の4人に3人は市外の方なので、実際に物件の状況を目にすることができないことが登録に至らない一因になっています。所有者を割り出すベースとしては、都市整備課や税務課に協力してもらっているところです。また、空き家の所有者だけでなく、納税義務者に直接郵送して周知を行っています。税制改革として、空き家に関する税制としてこれから出てくるかと思っています。このあたりが追い風になってもらえたらと思っています。
連絡事項	
議長	最後に事務局から連絡事項がありますので、事務局からお願いします。
事務局	<p>本日は年度末のお忙しい中、協議会にご出席いただきありがとうございます。一点、連絡事項です。</p> <p>本日まで出席いただいております委員の皆様は、運営要綱第3条第1項により、団体からの推薦等をもって、会長が委嘱する委員で構成されています。</p> <p>その委員である皆様の任期が、令和5年6月7日となっており、団体推薦の皆様におかれましては、新年度を迎えてすぐに各団体から委員の推薦をいただくことになっております。</p> <p>改めて、事務局より各団体へ委員推薦の依頼を連絡させていただきますので、御選出をお願いします。</p> <p>その結果につきましても、新委員が決まり次第、追って御報告させていただきます。</p>
意見交換	
議長	さて、最後にはなりますが、お集まりいただいた皆様からもひとつ言わずつでも、

令和4年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和5年3月27日）

	<p>所属されている団体で取り組まれている移住・定住に関する施策、または移住・定住に対する御意見などありましたら、この場で意見交換したいと思います。</p>
委員	<p>深江のエリアで新規就業者の住居を探していますが、空き家でも売りに出していない、近所の方に聞いても所有者が分からない家がたくさんあります。空き家バンクの物件もまだ掘り起こしができる要素があるということだと思います。また、牡蠣の打ち子さんも高齢化が進み事業が成り立たない状況です。水産に興味のある移住希望者がいらっしゃったらご相談ください。</p>
委員	<p>不動産連合会として関わっているのは、フウドを介して市外から移住される方の契約や最終的なご案内をさせていただいています。特にこの1～2年は、成約には結びつかなくても、物件の案内が増えていることを実感しています。今後も市やフウドの取り組みやアプローチという点で、空き家バンクの活性化や協力ができればと思っています。</p>
委員	<p>私も移住者として、移住者目線で相談に乗っていますが、自身のアドバイスが先行してしまう部分があります。しかし、周りの意見を聞くと「そういう意見もあるのか」と気づかされることもありますので、こちらに住んでいる側からの目線で、どういったアドバイスがあれば移住希望者のためになるのか、地域にはこんな課題があるといったヒアリングの機会があれば良いと感じました。</p>
委員	<p>江田島市にはたくさんの空き家がありますが、登録が出ないから購入希望者に届かないというのが現状です。そこで、市内に住んでいない所有者に対しても、毎年所有者に固定資産税の通知書を送付しており、その中に空き家バンクへの登録のお知らせを入れています。今後、制度の改正もあり、相続登記が義務化されます。それに伴った問い合わせも増えてくると思います。また、家財の処分等、市の補助金がありますので、広く伝われば物件の掘り起こしの動きに繋がります。そのような方には、市から説明して登録を促すこともできますのでぜひお力添えをお願いします。</p>
委員	<p>2つ感じたことがありました。1つは、協議会をはじめ事業の年月が経ったことで、空き家の調査やサイトのアクセス数、移住の相談件数等、データが徐々に蓄積されてきたという印象があります。データの収集は今後も継続しつつ、これからはさらに分析もしていけたら良いと思います。空き家所有者の調査も定期的に行うことが大切だと思います。そして、データや協議会の意見も踏まえて、何が課題になっているかというのは丁寧に分析していただけたらと思います。</p> <p>2つ目に、市としては努力していると感じますが、県として見ると全国で一番転出者が多くいます。県としてもどれだけ県外の方に移住してもらえるか、というのはすごく大事なところだと思います。実際に移住相談に来られている方も4人に3人は県外の方で、伸びしろは十分にあります。例えば、江田島暮らしイメージツアーの方を県外の方も含めるとか、県や全国の関連団体と連携して訴求していく動きも大事なのかと感じています。</p>
委員	<p>大須地区の自治会長もしており、大須や幸ノ浦の町なかに歴史の看板を設置しようとしています。今は地元の方でも地元の歴史を知らないという人がいま</p>

令和4年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和5年3月27日）

	<p>す。地元の方や移住者の方にも大須のことだけでなく江田島のことを知ってもらいたいと考えています。</p>
委員	<p>無料職業紹介をさせてもらう上で、仕事を探す側と募集する側の職種のマッチングが大切です。募集の多い職種として医療や介護，農業，漁業等があり，これらの仕事の魅力を積極的に発信できればと思っています。</p>
委員	<p>皆様の話を聞いて，空き家にしても，仕事にしても，アンマッチの部分が大きいのかと感じました。自治会としては，地域にどのような空き家があるのかということをお自治会で話しています。今後も都市整備課と協力して，所有者が市内なのか市外なのかを調査して対策をとっていきます。</p>
5 閉 会	
事務局	<p>本日，委員の皆様からいただきました御意見を移住・定住の事業や施策に反映し，人口減少対策に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>今後とも御協力をお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上です。</p> <p>本日は御多用の中，協議会に御出席していただき，誠にありがとうございました。</p>